

食のイノベーション推進事業業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和7年3月28日（金）13時00分から14時00分まで
2	場 所	WEB
3	出席委員	農林水産局販売・連携推進課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 地域政策局中山間地域振興課長 農林水産局農業経営発展課長 農林水産局農業技術課長 農林水産局畜産課長 農林水産局水産課長
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	農林水産局 販売・連携推進課
6	開催方法	参集（オンライン）
7	議事内容	<p>提案書を基にプレゼンテーションを行い、各選定委員が審査表に基づき採点した。合計点数が6割を超えており、事業者を選定することに選定委員からの異論はなく、業務予定者を合同会社MHDFに決定した。</p> <p>なお、審査における主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的なスケジュールを組まれていると感じた。 ・既にこの事業における伴走支援の実績があり、課題等も一定程度把握できている。 ・提案書では、農業・水産業など第一次産業の専門家が1人とされており、全体をカバーできるのか不安を感じた。専門家を複数人配置するなど層を厚くするべきではないか。 ・食に関する専門知識を有する者の配置の充実が必須である。 ・伴走支援の方法について、もう少し具体的な提案があるとなお良い。 ・伴走支援においては、各チームの課題解決に効果が見込まれる者（実需者、他県での先進的な実践者、当該分野の専門家）を派遣するなど、柔軟な支援体制を構築してほしい。 ・業務量に対して執行体制にやや不安が残る。 ・これまでの取組で得た知見を踏まえ、PDCAを回しながら事業の推進に努めていただきたい。 ・過去の取組の振り返りで出てきた課題が解決されるような取組になることを期待します。